

## 初めての調理実習(5年生)



画像は加工して掲載しています

コロナ感染拡大防止のための教育活動の制限が解除され、ようやく5年生が初めての調理実習をすることになりました。ゆで野菜の調理実習を前に、ガスコンロの安全な使い方の練習も兼ねて「おいしいお茶を入れて味わおう」という実習を行いました。今の時代、ガスコンロではなく、IHであったり、ガスコンロといってもひねるタイプのものでなく、プッシュ式のものであったり、またコンロを使うこともあまり経験がないかもしれません。



画像は加工して掲載しています



像は加工して掲載しています

またきゅうすにお茶を入れて飲むというより、お茶は冷蔵庫



画像は加工して掲載しています

からペットボトルを取り出して飲むという文化なのかもしれません。お湯を沸かすことも、適温にしてからきゅうすにお湯を入れることも、みんなの分を同じ濃さになるよう注ぐことももちろん初めての経験の子どもたちもたくさんいました。

「あっ、いい香り！」「おいし〜い。」初めての経験だから？学校でみんなと飲んだから？自分で入れたお茶だから？もちろんそのこともあったとは思いますが、  
「校長先生、どうぞ。」と入れてくれたお茶は、本当にいい香りのほんのり甘みのあるおいしいお茶でした。みんなで体も心もほっこりできた初めての調理実習となりました。



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています



いつの間にかあざやかに咲いて、いつの間にかどこかに隠れてしまう彼岸花。  
この写真は、彼岸花が咲き終わった後に地面から伸び始める彼岸花の葉です。秋から冬にかけて他の草が茂らないときに、太陽の光を独り占めするかのようによっぱいに浴びて、栄養を地面の中にある球根にためこみます。冬を越し、春から初夏にかけても栄養をよっぱいためこむと、真夏の間は葉を枯らし、しばらく

静かに眠るのです。夏が過ぎ、いよいよお彼岸が近づくと、「この季節を待ちました。」とばかりににょきにょきと茎を伸ばして、また鮮やかな花を咲かせるのです。誰にも気づかれない間でも次に咲かせる花のために日々地道な努力を積み重ねている彼岸花に学びたいものです。

---